

新入会員(89 回生)紹介

加藤 聖也 かとう せいや

振り返ってみれば、聖也くんは故障等でよくプールサイドで過ごすことが多かったと思います。首に包帯みたいなのを巻いて部活にやってきたときは、さすがに衝撃を受けました(いや、水泳とは関係ないだろ)。でも、最後の十六校では力強い泳ぎを見せてくれましたね。彼はれっきとしたアニメオタクですが、平泳ぎオタクでもありますので、後輩指導のため部活に来ては、平泳ぎスイマーに熱いアドバイスとエールを送っています。これからも、面倒見の良い先輩でいて欲しいです。

千代 渉太 せんたい しょうた

千代くんの現役時代の得意種目は尽性園のクロスカントリーです。水泳部で随一の持久力と忍耐の持ち主というところもあり、十六校では400メートル、800メートル自由形に出場しました。89 回生の中でも、落ち着きがあり、淡々と泳ぎ続けていました。現在は大学でアーチェリー部に所属し、泳ぐこと、さらには走ることさえ辞めてしまったようです。そんな彼に会いたいけど、顔が分からないという方、地下プールで富士蒼汰を見かけたら、それは千代くんです。

長嶋 透夢 ながしま とむ

水泳部の大エース。九段史上最速の男である彼は、泳ぎで周りを引き込んでいきます。最初のイメージが最悪でも(タメ口だったり飛び跳ねていたり?)泳いでいる姿を見ればすごいと言わざるを得ない。そんな感じなので、彼を語るのは難しいです。ふざけていても、泳ぎ出すと他を圧倒するそのパワーの源を知りたいと思う後輩も多いはずです。日本の大舞台に出て行く姿はみんなの憧れです。九段中等初のインターハイ、日本選手権出場と、これからのスイマーとしての活躍に期待大です。

福島 京平 ふくしま きやうへい

水泳部のイケメン担当といったらこの人! 入学当初から高身長を守り抜き、羨ましい限り。たまに弾けすぎちゃう水泳部をコントロールしてくれるような冷静さをもつしっかりさん。時間を守りあいさつもしっかりして、仲間との仲も抜群。さまざまな場面で後輩には見習ってもらいたいですね。真面目で高身長なイケメンさん、これ以上彼に何を求めればいいのでしょうか。2 回目ですが羨ましいですね。OB として九段水泳部を支えてくれることを期待しています!

ふじい
かなこ
藤井 佳奈子

89 回生唯一の女子、藤井さん。最後まで水泳部に華を与えてくれました。笑顔が似合う部門 No. 1！ 女子の後輩からの信頼も抜群に集める彼女。自信がないといいつつも、水泳も受験もしっかりと結果を残す努力家。これからも努力を続けて成長し、周りに彼女の笑顔を届けてもらいたい！ これからも O G として部活を支えてくれることを期待しましょう！

みずの
たいへい
水野 泰平

水野家 3 兄弟の三男。ついに三男も一游会に入りました。エース泰平くんは個人メドレーを泳ぎこなす。泳げば早く、勉強をしても何でもできちゃうから羨ましい。まじめでおとなしめに見えるけど、実はお茶目で同期はもちろん、後輩からも先輩からも慕われている。みんなから厚い信頼を得ている。そんな泰平くんは今、長男と同じく東北大学水泳部で現役スイマー！ これからも彼の活躍に期待しましょう！ 東京に帰る時は、後輩に元気と笑顔、刺激を与えてくれることでしょう！

やす
こうすけ
安 孝介

一年生の時のあのサイズ感。今思い出すとたまらなくなります。そんな彼も最高学年になって部長となり、水泳部をまとめて、引っ張ってくれました。適当なことを言っ

いるように見えて、核心をついてくるあたり頭いいなあと
思っていました。周りをよく見ている証ですね。最初はブ
レストの選手で、途中からバックの選手へ。種目変更して
からどんどんタイムが伸びて行く姿が本当に嬉しかったで
す。これからも応援していきたいです。



新部長より

4年 山来 やまく まなび 真名美

いつも水泳部を支えて下さっている方々、本当にありがとうございます。

8月17日より部長を務めさせて頂くことになりました、山来真名美です。私は小学四年生の時、K C Nに憧れ、九段中等を志望しました。まさか入学でき、水泳部に入部し、部長という大役を任せていただけたとは思ってもいませんでした。

今年の十六校で感じたことがあります。それは先生方、コーチ、沢山のO B・O Gの方々、保護者の方々に支えられていることです。これまで、分かっていたつもりでしたが初めての十六校を経て改めて身に染みました。日頃の感謝の気持ちは、言葉にしないと、行動で示さないと、伝わらないと私は思っています。来年は引退する先輩がいない分、十六校は日頃の感謝の思いを伝える場にしていきたいと思います。その為には、限られた時間の中で一人一人が自身と向き合い、努力し続けなければいけません。十六校はもちろん、ベスト更新、関東大会出場、インターハイ出場など、それぞれ目標を掲げ、高校生6名、中学生21名の計27名という少ない中で、切磋琢磨し、団結し日々精進して参ります。

私は優れた水泳能力を持っているわけではありません。

1年早く最高学年になるということで経験も浅く、前年度の部長さんとは比べ物にならないほど出来ない私ですが、12回生みんなで作り上げる部活にしていきたいと思っています。沢山のご協力をいただき、ご迷惑もお掛けすると思います。が、どうぞよろしくお願い致します。

私には夢があります。それは「今まで水泳部を支えて下さった先輩方以上に、12回生もみんなから愛される学年になる」ということです。越えなければいけない壁はとても大きく、とても難しいということは重々承知しています。しかし、私は諦めません。個性が強い6名であるからこそ、一つになり同じ方向に走り出したら、計り知れないほど大きな力になると私は信じています。ここで誓わせてください！私は最後までみんなを信じ続けます。そして、より良い部活になるよう努力し続けます。感謝の気持ちを、部員の態度で、成績で、示せるよう努力して参りますのでこれからもよろしくお願い致します。

これらの目標をかがけられるのは、豊かな環境を支えて下さっている先生方、コーチ、一游会の皆様、そして日々の部活動指導や、大会の役員、引率をしてくださるO B・O Gの方々、いつも生活面で支えてくださる保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。これからも感謝の気持ちを忘れず部員一丸となって頑張っていきたいと思います。今後ともご支援、ご協力のほど宜しくお願い致します。

2018年8月19日

前部長より

6年 おかの 岡野 あらた 新

8月まで部長を務めました、岡野新です。私が所属したこの5年半は思い返せばいろいろなことがあったと思います。顧問の先生が何度も入れ替わり、5年半のうちに数えきれないほどの先生方にお世話になりました。また外部コーチの木原さんや主コーチの飯島さん。多くのOB・OGさん。本当に色々な方々にお世話になりました。そして、私たち中等10回生が引退までたどり着けたのは一游会の皆様のご支援、ご協力、顧問の先生やコーチのご指導のおかげです。本当にありがとうございます。

私は小学生の頃から水泳をしていて、九段に兄がいたこともあり、九段水泳部で泳ぐことが夢でした。入学してすぐ練習に混ざり、多くの先輩方と一緒に泳ぎました。楽しいな会話を挟みつつも、頑張るところはしっかり頑張る、そんな水泳部が大好きでした。また、引退した先輩方がたまに練習に遊びに来てくださり、みんなで笑ったりした時間も、今になってとても大事な時間だったなと思います。

昨年8月、先輩から引き継ぎ部長になったとき、私は「自分が大好きなだけじゃなく、後輩にも同じように水泳部を大好きになってほしい。」そんな思いを持ちました。最初はなかなか部員が揃わなかったり、指示がうまく通らなかったり、このままで大丈夫かと不安になることも多かったで

す。ですが私の周りには、とても頼れて仲の良い同期が9人もいました。彼らが私のことを信じて助けてくれたことで、最後までやり切ることができました。十六校では、目標の男子総合2位を達成することは出来ませんでした。男子全員得点を稼ぎ、リレーでは関東中学出場のメンバーで混戦を勝ち抜き、都立駒場高校に次いで2位を3種目全てで取ることができました。中学生も辰巳に響く応援をしてくれました。最後のミーティングを終えた瞬間、私は自信を持って史上最高の水泳部だと言える部活を作り上げたのだと思いました。改めて最後までご支援、ご声援をくださり、本当にありがとうございました。

私達中等10回生は8月16日をもって引退しましたが、今後は一游会の一員として、九段中等水泳部を支えて行こうと思います。また、私達の後輩27名は今後も全国や関東、自らの目標に向かって精一杯頑張ってくれるはず。今後ともご支援、ご声援のほどよろしくお願いいたします。

2018年8月19日

学生コーチより

88回生 おかの 岡野 ひびき 響

一游会の皆さま、日頃からご支援、ご声援ありがとうございます。現在学生コーチを務めております、88回生の岡野響です。選手として培ってきた経験を生かし、後輩一人一人に技術面での指導を行っています。

今年度も山口尚己先生を中心に、高橋晴喜先生ならびに、

都立白鷗高等学校・付属中学校から赴任された藤本愛子先生の3名の顧問の先生方の指導のもと、活動を行っております。なかでも、藤本先生は都立九段高校水泳部の53回生で、今年度から九段水泳部に戻ってきてくださりました。また、今年度も木原稟太郎コーチを外部指導員としてお招きしています。これまで顧問でお世話になった先生方が異動された学校（都立北園高校、都立杉並高校など）との合同練習や交流も定期的に行われ、選手同士切磋琢磨しています。

現在、水泳部の活動は、日曜日を除く週6日を基本に行っています。部員の泳力別にAコースからEコースに分かれ、主にA Bコースは木原コーチ、C D Eコースは山口先生のメニューで練習をしています。また、今年も例年通り、春休みに静岡県 の河津で合宿を実施しました。合宿での共同生活を通して、チームとしての一体感を強めるとともに、合宿でしかできない水泳漬けの生活で心身ともに成長したことと思います。

今年度になってから、91回生（現5年）が全員退部しました。これにより、ひと学年が全くいない代ができてしまいました。これまで水泳部の課題であった、部員一人一人の水泳に対する意識に差があるということですが、うまく改善できず、このような結果をもたらしてしまったのかもしれない。

今後とも夏の十六校を目標とし、各々練習に取り組んでいきますが、私としてはコーチをしていく中で、部員とコミュニケーションをとる、部で一つになったとき、皆が同じ方向を向けるような手助けをしていけたらと思っています。このように書きましたが、練習での雰囲気は以前にも増して良く、部員同士で声を掛け合ったり、技術面で意見を交換し

あったりして活発に活動しています。これからも続けて行っ てほしいです。

コーチとしてまだまだ未熟な私ですが、現役部員から信 頼されるよう励んでまいります。

一游会の皆さま、今後ともご支援、ご声援のほど、どうぞ よろしくお願いいたします。

2018年8月19日



撮影 古川勇氣（76回生）

外部指導員より

外部コーチ 木原 稟太郎
きはら りんたろう

外部コーチの木原です。2015年より水泳部を指導させていただき、今年で早いもので4年目を迎えました。

今年の嬉しい報告としてはまず、6年の久下悠世が、昨年の長嶋透夢に続き、関東大会に進み、インターハイの標準記録を突破し、九段水泳部として2年連続のインターハイ出場を果たしました。本人にとっても、ジュニアオリンピックに続き、最高学年で初めての全国大会出場になります。夢を諦めずコツコツと正しい努力を積み重ねてきた成果だと言えます。

昨年同様、練習時間など公立校での制約された条件、環境の下、全国大会に出場する価値は大変大きいものだと思います。

また、今年の十六校においては、男子総合3位、男子は全員得点、また出場全選手がベスト更新と大健闘、コーチとしても満点の十六校となりました。

今年は10回生のまとめ、仲の良さ、明るさがチームに伝播し、徐々にチームらしく、最後はとてもしいチームとして成長してくれました。今年の水泳部は10回生の力が上手く良く出た形になったかと思えますし、10回生それぞれの成長が、そのままチームの成長に繋がったかと思えます。私としても、今年のチームの成長、成果はとても嬉しく思います。

す。

また、今年度は1年生に有望な部員も多く、高校生に刺激を受けた中学生も来年以降大きく飛躍する可能性を持っており、こちらも楽しみです。

十六校を終えての新チームでは、女子が部長を務め、女子の活躍も期待できますし、これまでとはまた違ったカラー、持ち味の水泳部になりそうです。

私自身も九段水泳部がさらにレベルアップが出来るよう、また部員たちが1人の人間として立派に成長できるように精一杯の指導、尽力をしたいと思います。

OB・OGの方々のご支援には毎度感謝しております。今後とも皆さまのご支援、多方面からのサポート、お力添えのほど、宜しくお願い致します。

2018年8月19日



観海亭亭長より

なかや まりな
仲矢 茉莉奈

今年度の観海亭亭長を務めました、九段中等6回生（卒業4年目）吹奏楽部OGの仲矢茉莉奈と申します。今年度の至大荘行事も無事5日間を終えることができました。一游会の皆様にはこの場を借りてご挨拶させていただきます。誠にありがとうございました。

今年の生徒は12回生の絆をしっかりと深めていました。

5日目最後の游泳が終わる時、至大荘委員長が『至大荘と共に』を、みんなで歌わせてください」と私のもとに来ました。生徒自らが行動し、自分たちの絆を深める。生徒は肩を組みながら海を見つめ、『至大荘と共に』を歌い上げました。初日と全く異なる姿は、助手や先生方の心に響きました。

亭長を務めて感じたのはたくさんの方に支えられて至大荘行事が成り立っているということです。練習や本番に参加をして支えてくださったOB・OGの方々。直接お会いしたことはありませんが、ご支援をしてくださる皆様。母校のために力を貸してくださる先輩方がたくさんいらっしゃることで、至大荘行事が続いているのだと感じました。改めて感謝申し上げます。

また、現在、現役助手が増えております。生徒の成長に携わっているという責任感をもち、どのように生徒を導いていくか意欲的に取り組んでいます。生徒の心に至大荘をのこし、100年目に向けてさらに励んでいきます。

これからも現役助手、OB・OGの方々、そして先生方

と協力しながら、至大荘行事を続けていきます。今後ともご支援、ご協力いただけますと幸いです。何卒よろしくお願いいたします。

2018年8月19日



撮影 古川勇気（76回生）